

# 第1回 日本緩和医療学会中国四国支部 学術大会

日時 平成30年9月8日(土)

平成30年9月7日(金) 18:30~  
イブニングセミナー

会場 くにびきメッセ (島根県立産業交流会館)

〒690-0826 島根県松江市学園南一丁目2番1号

大会長 齊藤 洋司

島根大学医学部麻酔科学教授・緩和ケアセンター

## ご 挨拶

第1回日本緩和医療学会中国四国支部学術大会長 齊藤洋司  
(島根大学医学部麻酔科学講座教授)

第1回日本緩和医療学会中国四国支部学術大会を、2018年9月8日(土)に松江市のくにびきメッセ(島根県立産業交流会館)にて開催させていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。日本緩和医療学会も20年の歴史を超え、各地域に支部を設立されました。支部活動の基盤となる学術交流を通して、地域における緩和ケアの教育・普及・連携ならびに研究成果の社会還元を目的に、支部学術大会を定期開催することが決まりました。この度、最初の中国四国支部学術大会長を務めさせていただくこととなり、たいへん光栄に存じます。

支部設立から支部学術大会開催に至るまで十分な準備期間が取れず、また試行錯誤で整備していかなければならない課題も多く、参加の皆様には多々ご不便をおかけいたしますが、実り多い学術交流の場となりますようスタッフ一同、鋭意、準備を進めております。多数のご参加で大会を盛り上げていただけますよう、会員皆様のご理解、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

本学術大会のテーマは「明日へつむぐ」といたしました。緩和ケアはまだまだ発展の途にありますが、まさしく多職種の糸を、医療と社会を縦、横に細い糸をつむぐことで緩和ケアの礎を築いてきました。地域の特徴、背景をもとに支部学術大会を立ち上げる今、明日へ向かっての緩和ケアをつむぐ、その礎となるような大会にしたいとの思いからのテーマです。

本大会は教育的プログラムを柱とした企画にしております。特別講演、教育講演、シンポジウムなどの特別演題に加え、口演による一般演題の構成としております。一般演題には多くのご応募をいただき、49演題を採択できましたこと、皆様のご支援の具体と感謝しております。特別講演では、大西秀樹先生に「がん患者家族・遺族の抱える苦悩、およびその対応について」をテーマにご講演をいただきます。シンポジウムは、「緩和ケアをつむぐ人へ」と「緩和ケアー地域連携をつむぐー」を企画しており、後者に先立っては加藤雅志先生に「緩和ケア地域連携の構築」をテーマとした基調講演をお願いしております。

前日9月7日(金)には共催イブニングセミナーとして、「Whole Person Careの理論と実践：心を調べ、心を開き、心を込める」のテーマで恒藤 暁先生にご講演をいただきます。当日の共催セミナーでは、木澤義之先生「非がん患者の緩和ケアとACP」、木村祐輔先生「緩和ケア地域連携を实践する」、余宮きのみ先生「広がるオピオイドの選択肢」、川原玲子先生「緩和医療における漢方治療の実際」、里見絵理子先生「難治性がん疼痛～メサドンを効果的に使うコツ～」など、各分野の第一人者の先生方にご講演をいただきます。

島根には、出雲大社、松江城をはじめとする観光名所も多くあります。学術大会ご参加の機会に、郷土の味覚、玉造温泉などの湯所とともに、初秋の島根を満喫していただければ幸いです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

# 第1回 日本緩和医療学会中国四国支部学術大会

日時：平成30年9月8日(土) 9:30～

平成30年9月7日(金) 18:30～ イブニングセミナー

会場：くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）

〒690-0826 島根県松江市学園南一丁目2番1号

大会開催中のみのお問い合わせ先番号：070-5427-2171

大会長：齊藤 洋司

島根大学医学部麻酔科学・緩和ケアセンター

## 会 場

総合受付 1 F ロビー

第一会場 3 F 国際会議場

第二会場 1 F 多目的ホール

第三会場 1 F 小ホール

第四会場 5 F 501 大会議室

# 会場のご案内



出雲縁結び空港
空港連絡バス 約30分
JR松江駅
路線バス 約3分
徒歩 7分
くにびきメッセ

## 学術大会参加のご案内とお知らせ

### 1. 参加受付

受付場所: 1階 ロビー

参加費: 日本緩和医療学会員 2,000 円, 非学会員 3,000 円, 学生 (医療系) 無料

注 1: 現金でお支払いください。クレジット決済には対応しておりませんのでその旨ご理解下さい。

注 2: 学生の方は, 学生証をご提示下さい。

参加証, 領収書の再発行はできませんので, 大切に保管して下さい。

抄録集は, 当日受付で配布いたします。無料ですが, お一人様 1 部といたします。

### 2. 共催セミナー

ランチョンセミナーは整理券の配布を行います。8:30~12:30で受付近くの配布場所でお受け取り下さい。お弁当・お茶は, 用意してあるものを皆様お取りいただき, 会場にお入り下さい。

### 3. クローク

8日土曜日の学術大会当日3階にクロークを設置いたします。お帰りの際には, お荷物をお忘れにならないようご注意ください。

貴重品については, 各自で管理して下さいますようお願いいたします。

場所: 会場3階 (303室・304室)

受付・利用時間: 9月8日 (土曜日) 8:00~16:45

### 4. その他

携帯電話, スマートフォン, タブレット, 時計のアラームなどの音を発生する器械につきましては, 電源をお切りいただくか, マナーモード設定をお願いいたします。

講演, 口演などの内容につきましての写真撮影, 動画記録, 音声録音はお控え下さいますようお願いいたします。

なお, 館内は全館禁煙です。所定の喫煙場所で喫煙願います。

## 座長・発表者へのご案内

発表は全て口演形式です。

### 座長の皆様へ

担当部門開始予定の15分前までに、会場内前方にある「次座長席」にご着席下さい。

各部門の進行は座長にお任せいたしますが、円滑な進行のため時間厳守をお願い申し上げます。

### 発表者の皆様へ

#### 発表時間

会場内では、前の発表者の登壇後10分前までに（1人目の場合も10分前までに）、講演会場内前方の「次演者席」にご着席下さい。

シンポジウム1の発表時間は10分、シンポジウム2の発表時間は15分です。教育講演は、質疑も含めて45分です。

一般口演の場合は、発表6分、質疑4分で、合計10分です。運営は座長にお任せ下さい。

演台上に、発表用ノートパソコンを用意いたします。画面に最初のスライドを表示いたしておりますので、その後の操作は発表者の方でお願いいたします。

一般口演は、発表途中と終了時にベルを鳴らして時間をお知らせします。

発表開始5分後（終了1分前） ベル1回

発表開始6分後（終了時） ベル2回

円滑な学術大会運営へのご協力をよろしくお願いいたします。

発表データは学術大会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

#### スライド発表原稿

スライド発表原稿は、Windows版PowerPointで作成いただき、9月4日火曜日までに、こちらのアドレスまでご送付下さい（[kanwa@med.shimane-u.ac.jp](mailto:kanwa@med.shimane-u.ac.jp)）。

提出ファイル名は「演題番号演者名.pptx」として下さい。Macintoshでのご発表や動画・音声ご使用の場合は、そのことをメールでお知らせ下さい。

事前にご送付いただいたスライド原稿でのご発表をお願い申し上げます。発表当日訂正などがあって改訂スライド原稿をお持ち込みになられた場合は（USBフラッシュメモリーまたはCD-Rメディアでのお持ち込みをお願いします）、対応させていただくことを原則としますが、もし対応できなかった時は、事前提出いただいたスライド原稿でのご発表をお願いいたします。

### 質疑者の皆様へ

質問・発言のある方は、あらかじめマイクの前でお待ちいただき、座長の指示に従い、所属・氏名を明らかにして、簡潔に述べて円滑な進行にご配慮をお願いいたします。

第1回日本緩和医療学会中国四国支部学術大会

9月7日(金)				
第1会場 国際会議場(3F)	第2会場 多目的ホール(1F)	第3会場 小ホール(1F)	401会議室(4F)	
				17:30
				18:15
<b>イブニングセミナー</b> Whole Person Careの理論と実践 :心を調え、心を開き、心を込める 演者:恒藤 暁 座長:齊藤 洋司 共催:あゆみ製薬				19:30
				19:30

9月8日(土)				
第1会場 国際会議場(3F)	第2会場 多目的ホール(1F)	第3会場 小ホール(1F)	第4会場 501大会議室(5F)	
9:30	会長挨拶・開会式			
9:40	<b>特別講演</b> がん患者家族・遺族の抱える 苦悩、およびその対応 演者:大西 秀樹 座長:八塔 累子	<b>一般口演1</b> 地域連携・在宅ケアなど 座長:那須 淳一郎	<b>一般口演2</b> スピリチュアルケア、家族・ 遺族ケアなど 座長:寺嶋 吉保	<b>教育講演1</b> がん疼痛における鎮痛治療 安部 睦美 座長:武田 啓志
10:40	休憩(10分)			10:25
10:50	<b>シンポジウム1</b> 緩和ケアをつむぐ人へ伝えたい 座長:齊藤 洋司	<b>一般口演3</b> 痛み・オピオイド1 座長:中條 浩介	<b>一般口演4</b> アドバンス・ケア・プランニング、 スクリーニングなど 座長:片山 英樹	<b>教育講演2</b> 在宅緩和ケア 坪田 信三 座長:山根 弘路
11:50		休憩(10分)		
12:20		<b>一般口演5</b> 痛み・オピオイド2 座長:中村 久美子	<b>一般口演6</b> 緩和ケア病棟・チームなど 座長:石原 辰彦	<b>教育講演3</b> コミュニティで行うグリーンケア 矢田 昭子 座長:楨埜 良江
12:50	休憩(10分)			12:05
13:00	<b>共催セミナー1</b> 非がん患者の緩和ケアとACP 演者:木澤 義之 座長:齊藤 洋司 共催:協和発酵キリン・久光製薬	<b>共催セミナー2</b> 緩和ケア地域連携を实践する 演者:木村 祐輔 座長:山口 佳之 共催:シオノギ製薬	<b>共催セミナー3</b> 広がるオピオイドの選択肢～ヒト ロモルフォンをどう位置付ける か? 演者:余宮 きのみ 座長:小坂橋 俊哉 共催:第一三共	
14:00	休憩(15分)			14:00
14:15	<b>シンポジウム2</b> 緩和ケアー地域連携をつむぐー 基調講演 加藤 雅志 座長:足立 誠司 太田 桂子	<b>スイーツセミナー</b> 緩和医療における漢方治療 の実践 演者:川原 玲子 座長:中谷 俊彦 共催:ツムラ	<b>スイーツセミナー</b> 難治性がん疼痛～メサドンを効 果的に使うコツ～ 演者:里見 絵理子 座長:小原 弘之 共催:テルモ	
14:40		<b>一般口演7</b> 症状ケアなど1 座長:古口 契児	<b>一般口演8</b> 症状ケアなど2 座長:今田 敏宏	<b>教育講演4</b> 精神症状マネジメント 小早川 誠 座長:日笠 哲
16:20	休憩(10分)			12:50
16:25	閉会挨拶			16:00
	(16:15終了)			16:25

# 「第1回日本緩和医療学会中国四国支部学術大会プログラム」

## 開会式

平成30年9月8日（土）

■第1会場（国際会議場）

（9：30～9：40）

### 開会の挨拶

会 長：齊藤 洋司（島根大学医学部麻酔科学講座 教授）

## イブニングセミナー

平成30年9月7日（金）

■第1会場（国際会議場）

（18：30～19：30）

座 長：齊藤 洋司（島根大学医学部麻酔科学講座 教授）

Whole Person Careの理論と実践：心を調え、心を開き、心を込める

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授

恒藤 暁

## 特別講演

平成30年9月8日（土）

■第1会場（国際会議場）

（9：40～10：40）

座 長：八塔 累子（前 島根県立大学認定看護師教育課程 教授）

がん患者家族・遺族の抱える苦悩，およびその対応について

埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター精神腫瘍科 教授

大西 秀樹

## シンポジウム

平成30年9月8日(土)

■第1会場 (国際会議場)

(10:50~12:20)

座長: 齊藤 洋司 (島根大学医学部麻酔科学講座 教授)

シンポジウム1. 緩和ケアをつむぐ人へ伝えたい

シンポジスト: 八塔 累子 (前 島根県立大学 島根看護交流センター 教授)

太田 桂子 (島根大学医学部附属病院 地域医療連携センター MSW)

内田 伸恵 (鳥取大学医学部 病態解析医学講座 画像診断治療学分野 放射線治療科 教授)

直良 浩司 (島根大学医学部附属病院 薬剤部 教授)

川口 美喜子 (大妻女子大学 家政学部 食物学科 管理栄養士専攻 教授)

中谷 俊彦 (島根大学医学部 緩和ケア講座 教授)

■第1会場 (国際会議場)

(14:40~16:20)

座長: 足立 誠司 (鳥取市立病院 地域医療総合支援センター長)

太田 桂子 (島根大学医学部附属病院 地域医療センター MSW)

シンポジウム2. 緩和ケアー地域連携をつむぐー

基調講演 国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援部長 加藤 雅志

シンポジスト: 足立 誠司 (鳥取市立病院 地域医療総合支援センター長)

横山 幸生 (かとう内科並木診療所 医療ソーシャルワーカー)

宮脇 聡子 (四国がんセンター がん看護専門看護師/副看護師長)

## 共催セミナー

平成30年9月8日（土）

### ■第1会場(国際会議場)

(13:00～14:00)

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部麻酔科学講座 教授）

非がん患者の緩和ケアとACP

神戸大学大医学部附属病院 緩和支援治療科 特命教授 木澤 義之

### ■第2会場(多目的ホール)

(13:00～14:00)

座長：山口 佳之（川崎医科大学 臨床腫瘍学 教授）

緩和ケア地域連携を实践する

—東北緩和医療研究会22年の歩みと各地域の取り組みから—

岩手医科大学附属病院 緩和医療学科 特任教授 木村 祐輔

### ■第3会場(小ホール)

(13:00～14:00)

座長：小坂橋 俊哉（東京歯科大学市川総合病院 副病院長・麻酔学 教授 緩和ケア科部長）

広がるオピオイドの選択肢 ヒドロモルフォンをどう位置付けるか？

埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 部長 余宮 きのみ

## スイーツセミナー

平成30年9月8日（土）

### ■第2会議場（多目的ホール）

(14:15～15:15)

座長：中谷 俊彦（島根大学医学部緩和ケア講座 教授）

緩和医療における漢方治療の実際

地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 緩和ケア科 部長 川原 玲子

### ■第3会場(小ホール)

(14:15～15:15)

座長：小原 弘之（川崎医科大学 総合医療センター 内科 副部長）

難治性がん疼痛～メサドンを効果的に使うコツ～

国立がん研究センター中央病院 緩和医療科長 里見 絵理子

## 教育講演

平成30年9月8日(土)

■第4会場(501大会議室)

(9:40~10:25)

座長: 武田 啓志(島根県立中央病院 乳腺科 医長)

がん疼痛における鎮痛治療～オピオイドの特性をいかした使い方～

松江市立病院 緩和ケアセンター 緩和ケアセンター長 安部 睦美

■第4会場(501大会議室)

(10:25~11:10)

座長: 山根 弘路(川崎医科大学 総合内科学4 准教授)

在宅緩和ケア

松山ベテル病院 ホスピス医長 坪田 信三

■第4会場(501大会議室)

(11:20~12:05)

座長: 榎埜 良江(広島大学病院 看護部 がん看護専門看護師)

コミュニティで行うグリーフケア

島根県立大学 看護栄養学部 教授 矢田 昭子

■第4会場(501大会議室)

(12:05~12:50)

座長: 日笠 哲(広島市立安佐市民病院 精神科・緩和ケア内科 主任部長)

精神症状マネジメント

広島大学病院 精神科 診療講師 小早川 誠

■第4会場(501大会議室)

(15:15~16:00)

座長: 直良 浩司(島根大学医学部附属病院 薬剤部 教授)

緩和ケアチームにおける薬剤師の役割

国立病院機構浜田医療センター 薬剤部長 八本 久仁子

## 一般口演1

平成30年9月8日（土）

### ■第2会場(多目的ホール)

地域連携・在宅ケアなど

(9:40~10:40)

座長：那須 淳一郎（岡山済生会総合病院 内科）

#### 1-1) 在宅緩和ケア地域連携パスの評価～看取り後から見えたもの～

地方独立法人 広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院

○矢田 和美（やた かずみ），日笠 哲、升田 志保，伊藤 美幸，西岡 由香  
藤山 史恵，田中 裕之，中林 八千代

#### 1-2) 在宅で医療用麻薬の注射を円滑に開始できる出雲PCAシステム4年間の取り組み

島根県立中央病院 緩和ケアチーム

○今田 敏宏（いまだ としひろ），小松 歩美，

#### 1-3) 急性期病院における専門看護師、認定看護師の退院後訪問への取り組み

<sup>1</sup>島根大学医学部附属病院 看護部 緩和ケアセンター看護師長，

<sup>2</sup>島根大学医学部附属病院 副看護部長，<sup>3</sup>島根大学医学部附属病院 看護部長

○三吉 由美子<sup>1</sup>（みよし ゆみこ），園山 珠美<sup>2</sup>，神田 真理子<sup>3</sup>

#### 1-4) がん終末期患者の療養の場・看取りの場からみた緩和医療の現状～がん終末期患者の「最期まで在宅で」の希望を叶えるために～

<sup>1</sup>高知厚生病院 訪問看護ステーションこうせい，<sup>2</sup>高知厚生病院 緩和ケア科

○平山 司樹<sup>1</sup>（ひらやま かずき），小栗 啓義<sup>2</sup>，山口 龍彦<sup>2</sup>

#### 1-5) 在宅がん末期患者への医療用麻薬の使用調査からみる在宅緩和ケア

<sup>1</sup>株式会社ファーマシィ山陰エリア，<sup>2</sup>ファーマシィ薬局すこやか，

○熊谷 岳文<sup>1,2</sup>（くまがい たけふみ），山下 貴弘<sup>1</sup>，三上 頌太<sup>2</sup>

#### 1-6) 緩和ケア充実在宅療養支援診療所における在宅がん緩和ケアの実際

<sup>1</sup>島根県立大学，<sup>2</sup>医療法人医純会すぎうら医院在宅診療部

○中山真美<sup>1,2</sup>（なかやま なおみ），花田 梢<sup>2</sup>，杉浦 弘明<sup>2</sup>，佐藤 幸恵<sup>2</sup>

## 一般口演2

平成30年9月8日（土）

### ■第3会場(小ホール)

スピリチュアルケア, 家族・遺族ケアなど

(9:40~10:40)

座長：寺嶋 吉保（徳島県立中央病院 臨床腫瘍科）

#### 2-1) 主治医交代により見捨てられたと感じる癌終末期患者の苦しみの体験に関する記述現象学的検討

<sup>1</sup>岡山市立市民病院, <sup>2</sup>国立病院機構 南岡山医療センター 癌トータルサポートチーム

○濱田 昇<sup>1,2</sup> (はまだ のぼる), 佐藤 知枝<sup>2</sup>, 前田 智樹<sup>2</sup>

#### 2-2) 終末期患者の生きる希望を支え続ける関わり ～スピリチュアルペインへの早期介入～

松江市立病院

○渡部 貴江 (わたなべ きえ)

#### 2-3) がん患者の治療前後での世帯収入の変化と家族への影響について

<sup>1</sup>岡山大学病院 緩和支援医療科, <sup>2</sup>岡山大学病院 腫瘍センター, <sup>3</sup>岡山大学病院 看護部

○片山 英樹<sup>1</sup> (かたやま ひでき), 田端 雅弘<sup>2</sup>, 久保 寿夫<sup>2</sup>, 高下 典子<sup>3</sup>  
太田 佳男<sup>3</sup>, 松岡 順治<sup>1</sup>

#### 2-4) 遺族ケア「分かち合いの会」の現状と課題

岡山済生会総合病院

○竹森 陽子 (たけもり ようこ), 前川 礼子, 渡辺 貴子, 石原 辰彦

#### 2-5) がん患者カウンセリングの実践評価と課題

<sup>1</sup>松江赤十字病院 看護部 がん看護担当, <sup>2</sup>松江赤十字病院 緩和ケアチーム

<sup>3</sup>松江赤十字病院 麻酔科, <sup>4</sup>松江赤十字病院 精神神経科

○川上 和美<sup>1,2</sup> (かわかみ かずみ), 加藤 由希子<sup>1,2</sup>, 渡部 祐子<sup>2,3</sup>, 室津 和男<sup>2,4</sup>

#### 2-6) 病院内におけるがん患者就労支援の現状と課題

<sup>1</sup>島根大学医学部附属病院 がん患者・家族サポートセンター <sup>2</sup>同 地域医療連携センター

○槇原 貴子<sup>1</sup> (まきはら たかこ), 今岡 佐織<sup>1</sup>, 太田 桂子<sup>2</sup>

## 一般口演3

平成30年9月8日(土)

### ■第2会場(多目的ホール)

痛み・オピオイド1

(10:50~11:50)

座長：中條 浩介(香川大学医学部 麻酔学講座)

#### 3-1) がんの痛みの強さ・オピオイドの使用量にはがん種差, 男女差, 年齢差があるのか?

高知厚生病院

○小栗 啓義(おぐり ひろよし), 山口 龍彦,

#### 3-2) 急性期病棟における認知症患者の疼痛コントロールの実際

<sup>1</sup>JA尾道総合病院 看護科, <sup>2</sup>JA尾道総合病院 乳腺外科, <sup>3</sup>JA尾道総合病院 呼吸器外科

<sup>4</sup>JA尾道総合病院 緩和ケア内科,

○小田原 めぐみ<sup>1,4</sup>(おだわら めぐみ), 齋藤 泰子<sup>1</sup>, 村上 唯<sup>1</sup>, 田上 智加<sup>1</sup>  
森明 千晴<sup>1</sup>, 中上 小百合<sup>1</sup>, 藤原 ちえみ<sup>1,4</sup>, 佐々田 達成<sup>2</sup>, 則行 敏生<sup>3,4</sup>

#### 3-3) 疼痛機序の違いがタペンタドールによるがん性疼痛治療に及ぼす影響

東京歯科大学市川総合病院

○小板橋 俊哉(こいたばし としや)

#### 3-4) 医療用麻薬のレスキュー薬自己管理導入に向けた看護師に対する認識調査

<sup>1</sup>高知赤十字病院 薬剤部, <sup>2</sup>高知赤十字病院 緩和ケアチーム, <sup>3</sup>高知赤十字病院 看護部

<sup>4</sup>高知赤十字病院 栄養課, <sup>5</sup>高知赤十字病院 内科

○金子 真里奈<sup>1,2</sup>(かねこ まりな), 邑岡 俊明<sup>1,2</sup>, 永野 江里子<sup>2,3</sup>, 古郡 夏子<sup>2,3</sup>  
西川 薫<sup>2,4</sup>, 吉本 拓人<sup>1</sup>, 竹内 栄治<sup>2,5</sup>

#### 3-5) 当院におけるフェンタニル経皮吸収1日貼付型製剤の使用状況とその効果と理由

<sup>1</sup>大田市立病院 <sup>2</sup>大田市立病院 看護部, <sup>3</sup>大田市立病院 外科,

<sup>4</sup>島根大学総合医療学講座 大田総合医育成センター, <sup>5</sup>大田市立病院 麻酔科

○堀江 達夫<sup>1</sup>(ほりえ たつお), 高平 理子<sup>2</sup>, 堀江 都<sup>1</sup>, 坂野 茂<sup>3</sup>, 水本 一生<sup>3</sup>  
山口 峰一<sup>4</sup>, 本田 聡<sup>4</sup>, 野宗 義博<sup>4</sup>, 西尾 祐二<sup>5</sup>

#### 3-6) 皮下埋め込みくも膜下ポートを使用した麻薬管理を行う患者の退院に向けた取り組み

医療法人 天和会 松田病院

○藤範 梨絵(ふじのり りえ), 岩木 俊男, 門倉 康恵

## 一般口演4

平成30年9月8日(土)

### ■第3会場(小ホール)

アドバンス・ケア・プランニング、スクリーニングなど (10:50~11:50)

座長：片山 英樹(岡山大学病院 緩和支援医療科)

#### 4-1) 緩和ケア病棟における予後予測において、認知機能障害は影響するか

<sup>1</sup>徳島市民病院 精神科, <sup>2</sup>徳島市民病院 緩和ケアチーム, <sup>3</sup>徳島市民病院 看護部

<sup>4</sup>徳島市民病院 薬剤部, <sup>5</sup>徳島市民病院 緩和ケア病棟, <sup>6</sup>徳島市民病院 外科, <sup>7</sup>徳島市民病院 内科

○多田 幸雄<sup>1,2</sup>(ただ ゆきお), 岩井 久代<sup>2,3</sup>, 田岡 寛之<sup>2,4</sup>, 加藤 美玲<sup>1,2</sup>

惣中 康秀<sup>2,5,6</sup>, 片山 和久<sup>2,5,7</sup>, 後藤 真佐子<sup>3</sup>, 大久保 順子<sup>3,5</sup>, 日野 直樹<sup>2,6</sup>

渡辺 滋夫<sup>2,7</sup>

#### 4-2) がん終末期の意思決定支援に難渋した進行乳がんの1例

<sup>1</sup>川崎医科大学総合医療センター 内科, <sup>2</sup>県立広島病院緩和ケア病棟, <sup>3</sup>緩和ケアチーム

○小原 弘之<sup>1</sup>(こはら ひろゆき), 梶原 陽子<sup>2</sup>, 笠原 庸子<sup>3</sup>

#### 4-3) アドバンスケアプランニングの必要性を痛感した1症例

JR広島病院 緩和ケア科

○沖政 盛治(おきまさ せいじ)

#### 4-4) 回答を患者の判断に任せた苦痛のスクリーニング—スクリーニング結果と対応状況—

広島大学病院

○家護谷 五月(けごや さつき), 槇埜 良江, 白川 峰子, 重山 千恵

#### 4-5) 緩和ケア病棟担当薬剤師として患者の終活にかかわれた1例

<sup>1</sup>川崎医科大学総合医療センター 薬剤部, <sup>2</sup>川崎医科大学総合医療センター 緩和ケア病棟  
看護部, <sup>3</sup>川崎医科大学総合医療センター 総合内科学<sup>4</sup>

○藤原 真亜子<sup>1</sup>(ふじはら まあこ), 木下 春菜<sup>1</sup>, 草信 晴美<sup>1</sup>, 關 明<sup>2</sup>

神手 雪美<sup>2</sup> 六原 純子<sup>2</sup>, 監物 英男<sup>1</sup>, 山根 弘路<sup>2,3</sup>, 瀧川 奈義夫<sup>3</sup>

#### 4-6) 緩和ケアスクリーニングを活用した看護カンファレンス導入に関する報告

<sup>1</sup>島根大学医学部附属病院 看護部 緩和ケアセンター, <sup>2</sup>島根大学医学部附属病院 緩和センター

○園山 純子<sup>1</sup>(そのやま じゅんこ), 今岡 恵美<sup>1</sup>, 三吉 由美子<sup>1</sup>, 中谷 俊彦<sup>2</sup>

## 一般口演5

平成30年9月8日（土）

### ■第2会場(多目的ホール)

痛み・オピオイド2

(11:50~12:50)

座長：中村 久美子（山口県立総合医療センター 麻酔科）

#### 5-1) 当院におけるヒドロモルフォンの使用状況調査

地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院 薬剤部

○野村 実由（のむら みゆ）

#### 5-2) 下肢切断術後の幻肢痛に抗うつ薬アミトリプチリンの有効性が確認できた1事例

<sup>1</sup>鳥取大学医学部附属病院 がんセンター, <sup>2</sup>鳥取大学医学部附属病院 緩和ケア科

<sup>3</sup>鳥取大学医学部附属病院 緩和ケアセンター, <sup>4</sup>鳥取大学医学部附属病院 精神科

<sup>5</sup>鳥取大学医学部附属病院 化学療法センター, <sup>6</sup>鳥取大学医学部附属病院 麻酔科

○大山 賢治<sup>1,2</sup>（おおやま けんじ）, 八杉 晶子<sup>2,3</sup>, 山梨 豪彦<sup>4</sup>, 阪本 智宏<sup>5</sup>  
大槻 明広<sup>6</sup>, 稲垣 喜三<sup>6</sup>, 磯本 一<sup>1</sup>

#### 5-3) 呼吸困難に対してヒドロモルフォン経口投与が奏効した1例

松江市立病院

○大川 雅世（おおかわ まさよ）, 安部 睦美, 岩下 智之, 中右 礼子

#### 5-4) 耐性が疑われた大量のオキシコドン注射液を2日間かけてモルヒネ注射液にスイッチングした骨盤滑膜肉腫の1例

国立病院機構 浜田医療センター

○栗栖 泰郎（くりす やすろう）, 西谷 有子, 原 和志, 永井 聡, 渡部 裕志  
高橋 節, 吉田 弘太郎, 八木 久仁子, 内田 真理子, 竹元 千恵, 田村 浩子

#### 5-5) 腎不全終末期に腸穿孔を発症し、モルヒネにより疼痛緩和を行った1例

<sup>1</sup>広島赤十字・原爆病院 緩和ケア科, <sup>2</sup>広島赤十字・原爆病院 緩和ケアチーム

<sup>3</sup>広島赤十字・原爆病院 薬剤部, <sup>4</sup>広島赤十字・原爆病院 腎臓内科

○藤本 真弓<sup>1,2</sup>（ふじもと まゆみ）, 札埜 和美<sup>2</sup>, 赤木 貴紀<sup>2,3</sup>, 加藤 恵美<sup>4</sup>

#### 5-6) オピオイドフリーになった終末期患者への関わり

<sup>1</sup>益田地域医療センター医師会病院 看護部, <sup>2</sup>益田地域医療センター医師会病院 外科

<sup>3</sup>益田地域医療センター医師会病院 薬剤科

○澄川 久美子<sup>1</sup>（すみがわ くみこ）, 安野 愛<sup>1</sup>, 宅野 真由美<sup>1</sup>, 西迫 多重<sup>3</sup>  
五十嵐 雅彦<sup>2</sup>

## 一般口演6

平成30年9月8日(土)

### ■第3会場(小ホール)

緩和ケア病棟・チームなど

(11:50~12:50)

座長：石原 辰彦(岡山済生会総合病院 緩和ケア科)

#### 6-1) 緩和ケア病棟において家族会が家族ケアにもたらすもの ~家族会参加後のインタビュー結果から入院中に行う家族会の意義を考察して~

米子医療センター

○絹谷 裕希(きぬたに ゆうき), 西村 千里, 吉田 由香, 大林 香織

池谷 千恵, 三谷 順子

#### 6-2) 緩和ケアチームへの紹介手順を変更して

JA尾道総合病院 緩和ケアチーム

○藤原 ちえみ(ふじはら ちえみ), 小田原 めぐみ, 則行 敏生

#### 6-3) 緩和ケア病棟を開設してから2年6ヵ月間の現状報告

カトリック聖ドミニコ宣教修道女会・坂出聖マルチン病院

○見市 昇(みいち のぼる), 石垣 由加里

#### 6-4) 精神サポートが必要な患者の背景と問題点に関する検討

鳥取大学医学部附属病院 緩和ケアチーム

○八杉 晶子(やすぎ あきこ), 吉岡 奏, 矢間 友美, 山崎 かおり, 上田 恵巳

山梨 豪彦, 阪本 智宏, 大槻 明広, 大山 賢治, 稲垣 喜三

#### 6-5) 緩和ケアチームの入院患者への関わりはこの10年でどう変わったか

<sup>1</sup>地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 緩和ケアチーム

<sup>2</sup>可部訪問看護ステーションなずな, <sup>3</sup>つばさクリニック岡山

○岡部 智行<sup>1</sup>(おかべ ともゆき), 井上 智恵<sup>1</sup>, 倉田 明子<sup>1</sup>, 村上 礼隆<sup>1</sup>

妹尾 啓司<sup>1</sup>, 和田 健<sup>1</sup>, 塩崎 滋弘<sup>1</sup>, 橋本 寿子<sup>2</sup>, 武藤 純<sup>3</sup>

#### 6-6) 緩和ケア病棟入棟後短期死亡が看護スタッフへ与えるストレスの検討

<sup>1</sup>島根大学医学部附属病院 看護部, <sup>2</sup>島根大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

○太田 佐奈恵<sup>1</sup>(おおた さなえ), 佐野 智美<sup>1</sup>, 遠藤 澄子<sup>1</sup>, 今岡 恵美<sup>1</sup>

三吉 由美子<sup>1</sup>, 須藤 一郎<sup>2</sup>, 橋本 龍也<sup>2</sup>, 中谷 俊彦<sup>2</sup>, 齊藤 洋司<sup>2</sup>

## 一般口演7

平成30年9月8日(土)

### ■第2会場(多目的ホール)

症状ケアなど1

(15:15~16:15)

座長：古口 契児 (倉敷市立市民病院 緩和ケア内科)

#### 7-1) 患者の希望を支える～外出を通して学んだこと～

松江市立病院

○松林 志保 (まつばやし しほ)

#### 7-2) 消化管穿孔を発症した患者の「食べたい」思いに寄り添った1例

松江市立病院

○森山 純子 (もりやま じゅんこ)

#### 7-3) ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム研修会における受講者の評価

尾道市立市民病院

○渡辺 陽子 (わたなべ ようこ)

#### 7-4) トルーソー症候群を合併した進行がんの2例～音楽療法によるコミュニケーションの改善～

松江市立病院

○中右 礼子 (なかう れいこ), 安部 睦美, 岩下 智之, 西 紫

#### 7-5) がん患者の難治性悪心・嘔吐に対するミルタザピンの効果と難治化メカニズムに関する考察

<sup>1</sup>広島市立広島市民病院 精神科, <sup>2</sup>広島市立広島市民病院 緩和ケア科

<sup>3</sup>広島市立広島市民病院 緩和ケアチーム

○倉田 明子<sup>1,2</sup> (くらた あきこ), 井上 智恵<sup>3</sup>, 岡部 智行<sup>2</sup>, 和田 健<sup>1</sup>

#### 7-6) 心臓病センター榊原病院における心不全緩和ケアの意識調査について

<sup>1</sup>心臓病センター榊原病院 薬剤部, <sup>2</sup>心臓病センター榊原病院 心臓血管外科

<sup>3</sup>心臓病センター榊原病院 循環器内科, <sup>4</sup>心臓病センター榊原病院 心不全緩和ケアチーム

○浦上 悠<sup>1,4</sup> (うらかみ ゆう), 奥村 佳史<sup>1,4</sup>, 永野 範子<sup>4</sup>, 松本 梢<sup>4</sup>,  
小笠原 由紀<sup>4</sup>, 横山 祥子<sup>4</sup>, 齋藤 和也<sup>4</sup>, 津島 義正<sup>2,4</sup>, 林田 晃寛<sup>3,4</sup>,  
大原 美奈子<sup>3,4</sup>, 森田 孝子<sup>1</sup>

## 一般口演8

平成30年9月8日（土）

### ■第3会場(小ホール)

症状ケアなど2

(15:15～16:25)

座長：今田 敏宏(島根県立中央病院 総合診療科)

#### 8-1) 緩和ケア外来通院中に発症した首下がりに対して頸部星状神経節への直線偏光赤外線照射と頸部筋群へのキセノン光照射が有効だった1症例

香川大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

○村上 あきつ (むらかみ あきつ) , 中條 浩介, 石川 一朝, 上野 祐介  
福岡 奈津子, 大林 由美子, 水川 奈己, 植松 和世, 重田 宏恵, 本多 美枝  
辻 晃仁

#### 8-2) 終末期におけるろうあ患者との関わり～家族を通して希望を支えることができた1事例～

松江市立病院

○宮廻 潤平 (みやざこ じゅんぺい)

#### 8-3) 国立病院機構における緩和ケアに関する現状と薬剤師の活動

<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構 関門医療センター, <sup>2</sup>中国四国地区国立病院薬剤師会 緩和ケア研究会

<sup>3</sup>神戸薬科大学 薬学臨床教育センター, <sup>4</sup>独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター

○山崎 富士子<sup>1,2</sup> (やまさき ふじこ) , 形部 文寛<sup>2</sup>, 中村 孝佑<sup>2</sup>, 林 俊吾<sup>2</sup>  
武智 宣佳<sup>2</sup>, 小野 友香<sup>2</sup>, 八本 聖秀<sup>2</sup>, 波多江 崇<sup>3</sup>, 八本 久仁子<sup>2,4</sup>

#### 8-4) がん患者サロンのボランティアスタッフの運営に対する態度と思いを知る

山口県立総合医療センター

○水野 靖子 (みずの やすこ) , 吉山 美由紀, 山本 知美, 中川 千史

#### 8-5) 緩和ケア病棟患者のリハビリテーション介入による退院支援の実際

～患者のADL状況、自宅の障壁などを踏まえて～

松江市立病院 リハビリテーション部

○坂本 聖也 (さかもと せいや) , 安部 睦美, 上田 正樹

8-6) 『やすらぎのスープ』で癒しの場を提供して

<sup>1</sup>松江赤十字病院 12階病棟, <sup>2</sup>松江赤十字病院 栄養課, <sup>3</sup>松江赤十字病院 緩和ケアチーム

<sup>4</sup>松江赤十字病院 泌尿器科

○石河 映美<sup>1</sup> (いしこ えみ), 伊達山 美保<sup>1</sup>, 安原 みずほ<sup>2</sup>, 奥野 将徳<sup>2</sup>  
渡部 祐子<sup>3</sup>, 大野 博文<sup>4</sup>

8-7) 小児悪性腫瘍患者、慢性疾患患者に対するビーズワークの役割

<sup>1</sup>島根大学医学部 小児科, <sup>2</sup>島根大学医学部附属病院 小児センター 保育士

<sup>3</sup>島根大学医学部附属病院 小児センター CLS

○金井 理恵<sup>1</sup> (かない りえ), 椿 敦美<sup>2</sup>, 尾川 梢<sup>2</sup>, 黒崎 あかね<sup>3</sup>

閉会式

平成30年9月8日 (土)

■第1会場(国際会議場)

(16:25~16:30)

閉会の挨拶

会 長：齊藤 洋司 (島根大学医学部麻酔科学講座 教授)